

豊川市民病院

病院長名	佐野 仁
所在地	〒442-8561 愛知県豊川市八幡町野路23番地
交通案内	名鉄豊川線八幡駅隣接

★ 病院の特徴

昭和21年に設立され、昭和36年に総合病院となりました。平成25年5月に現在の場所に新築移転となり、新たな豊川市民病院に生まれ変わりました。

現在、地域の中核病院として、高度先進医療、救急医療及び不採算医療を含めて担当し、東三河北部医療圏を含めた地域医療の発展に尽くしています。また、初期研修医・専攻医を始め、看護師・医療技術職・事務職など全職員の人材育成にも取り組んでおり、さらに平成29年度から「キャリア支援センター」を新たに設置しました。

充実した研修・経験・実践(OJT)が行われ、労働環境にも力を注ぎ研修環境・待遇・福利厚生において全国的にも高いレベルだと自負しております。このように、当院の臨床研修病院としての特徴は「県下有数のバランスの良さ」だと思います。

★ 研修の特徴

当院の臨床研修制度は全国的にみても、自由度の高いプログラムの一つとなっています。従来の多くの診療科を回るスーパーローテート方式を選択することも可能ですし、早期より専門研修に特化したい研修医は2年次の10月から約6カ月単一診療科に専従することも可能です。その他、名古屋市立大学病院、豊橋ハートセンター(心臓血管外科)、日本医科大学付属病院(高度救命救急センター)、藤田医科大学病院などの外部機関に出向き、研修を行うことも可能となっています。

また、「総合診療科の基幹型プログラム」を運用している県下では数少ない「地域の中核病院」の一つだと思います。同科は救急科との連携も良く、当院の初期臨床研修の水準のアップに大きく貢献しています。救急科も「基幹型プログラム」の運用開始を2021年度より開始しました。

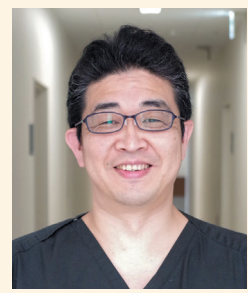
「内科」「総合診療科」「救急科」の専門医取得をめざす学生には最適の「初期臨床研修病院」と言えます。



メッセージ

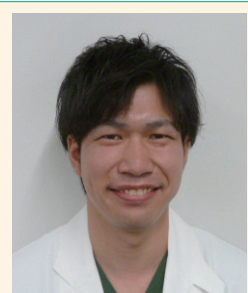
指導医 (キャリア支援センター センター長)

2019年12月より3次救急病院となった当院の救急科では救急外来で1年間約1万人のウォークイン患者と約7,000人の救急搬送患者に対し、研修医と一緒に診療にあたっています。現在ER型の診療を行っており、軽症者から重傷者まで手際よく診療にあたっています。救命の困難な症例により大変な時が多々ありますが、各科で協力し合い高度な医療を提供できていると自負しています。当直明けで疲れている時も、治療のうまくいった症例の笑顔を見るにつけ、常に勇気づけられることでしょうか。新しくなった病院と一緒に医療をしませんか。ぜひ豊川市民病院へお越しください。



研修医 (1年次研修医)

当院の臨床研修の魅力として、救急外来を受診される患者さんを研修医が主体となり診察できることが挙げられます。当直1回につき、10名程度が救急搬送され、25名程度のウォークイン患者が来院されます。軽症から重症まで幅広く来院されますが、上級医の先生方にフォローしていただきながら診察することができるので、安心してたくさんの症例を経験することができます。上級医だけではなく当院のスタッフも皆さん大変優しく気さくに接して下さいます。また、担当させていただく患者さんも協力的な方々ばかりなので、病院全体にアットホームな雰囲気があります。少しでも興味を持ってくださった方は、気軽にご連絡ください。研修医一同心からお待ちしております。



上級医の指導による救急対応セミナー

募集要項

採用実績	2022年度 10人 ・ 2023年度 9人	
給与/月額	1年次 給与月額540,000円 賞与年額 970,000円 2年次 給与月額620,000円 賞与年額1,550,000円 (※時間外勤務・宿日直手当等含む)	
当直回数/月	6回程度	
当直料/回	1年次 19,000円 ・ 2年次 21,000円	
その他	通勤手当・地域手当・期末賞与、研修医用公舎あり	
応募連絡先	担当者	白木 賢次
	電話番号	0533-86-1111
	Eメール	career@toyokawa-ch-aichi.jp